

衛研第1-33号
平成27年11月11日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成27年第45週（平成27年11月2日～平成27年11月8日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は腸管出血性大腸菌感染症2人の届出があった。四類感染症の届出はなかった。五類感染症は、侵襲性肺炎球菌感染症2人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.66 2.67)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まり、前年までの同時期よりやや多い。保健所別では、東松山(2.20 3.40)保健所管内で大きく増加し、熊谷(5.33)、川越市(5.25)、朝霞(4.00)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、4歳～8歳で全体の63.7%を占めている。**RSウイルス感染症**(1.23 1.27)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まり、多い状況が続いている。保健所別では、狭山(1.00 2.56)、草加(1.27 2.55)保健所管内で大きく増加し、本庄(2.75)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳以下で全体の74.1%を占めている。**流行性耳下腺炎**(0.70 0.90)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、東松山(1.00 3.40)保健所管内で大きく増加し、幸手(2.89)、春日部(2.17)、坂戸(2.00)保健所管内からの報告が多い。**咽頭結膜熱**(0.37 0.50)と**感染性胃腸炎**(4.30 4.88)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。保健所別では、前者が坂戸(2.67)、春日部(1.33)保健所管内からの報告が多く、後者が熊谷(9.78)、さいたま市(6.63)保健所管内からの報告が多い。**伝染性紅斑**(0.65 0.69)の定点当たり報告数は、前年同時期より多い状態が続いている。保健所別では、狭山(1.63)、坂戸(1.50)、東松山(1.40)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎**1人、**流行性角結膜炎**24人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎**16人、**インフルエンザ(入院)**1人の報告があり、前者は先週の6人より増加した。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2人（病型 患者2人 血清型 0157 1人、026 1人）
四類感染症	報告なし	
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	2人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第45週)

(2015年11月10日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		5	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	2	159			
四類感染症					
E型肝炎		6	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		15	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症		77
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		12	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
五類感染症					
アメーバ赤痢		28	侵襲性肺炎球菌感染症	2	64
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘*		7
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		34	先天性風しん症候群		
急性脳炎		22	梅毒		82
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		7
クロイツフェルト・ヤコブ病		8	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		28	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症		4	風しん		8
侵襲性インフルエンザ菌感染症		11	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	4			1

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査 週情報										報告患者数										保健所別										平成27年11月2日～平成27年11月8日									
	インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(入院)	インフルエンザ																			
全	26	205	80	430	785	92	70	111	65	2	8	145	1	24	-	-	-	16	-	-	1																			
川	0.10	1.27	0.50	2.67	4.88	0.57	0.43	0.69	0.40	0.01	0.05	0.90	0.03	0.60	-	-	-	1.60	-	-	0.10																			
朝	2	15	7	45	93	5	8	13	8	-	1	10	-	5	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	0.08	0.94	0.44	2.81	5.81	0.31	0.50	0.81	0.50	-	0.06	0.63	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	-	15	12	60	79	15	7	8	7	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	1.00	0.80	4.00	5.27	1.00	0.47	0.53	0.47	-	-	0.07	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	20	7	28	53	7	13	9	7	-	-	11	-	2	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	-	1.67	0.58	2.33	4.42	0.58	1.08	0.75	0.58	-	-	0.92	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	6	2	-	17	27	1	-	7	1	1	-	17	-	-	-	-	-	3	-	-	-																			
朝	0.75	0.40	-	3.40	5.40	0.20	-	1.40	0.20	0.20	-	3.40	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-																			
朝	-	3	-	2	1	-	4	-	1	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	1.00	-	0.67	0.33	-	1.33	-	0.33	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	11	1	7	7	-	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	2.75	0.25	1.75	1.75	-	0.50	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	4	8	48	88	6	3	9	3	-	1	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	0.44	0.89	5.33	9.78	0.67	0.33	1.00	0.33	-	0.11	0.11	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	6	-	3	-	3	1	3	3	-	-	4	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	-	1.00	-	0.50	-	0.50	0.17	0.50	0.50	-	-	0.67	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	1	6	8	7	13	2	1	1	1	1	1	13	-	1	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	0.10	1.00	1.33	1.17	2.17	0.33	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	2.17	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	5	15	2	13	18	8	5	1	1	-	-	26	-	-	-	-	-	4	-	-	1																			
朝	0.36	1.67	0.22	1.44	2.00	0.89	0.56	0.11	0.11	-	-	2.89	-	-	-	-	-	4.00	-	-	1.00																			
朝	1	1	16	11	15	3	-	9	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.10	0.17	2.67	1.83	2.50	0.50	-	1.50	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	28	3	15	47	5	5	6	7	-	-	12	-	1	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	-	2.55	0.27	1.36	4.27	0.45	0.45	0.55	0.64	-	-	1.09	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	2	41	8	51	89	18	7	26	5	-	-	1	1	1	-	-	-	5	-	-	-																			
朝	0.08	2.56	0.50	3.19	5.56	1.13	0.44	1.63	0.31	-	-	0.06	0.20	0.20	-	-	-	5.00	-	-	-																			
朝	-	6	-	42	49	2	1	4	1	-	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	-	0.75	-	5.25	6.13	0.25	0.13	0.50	0.13	-	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	3	10	3	12	27	2	8	2	3	-	3	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-																			
朝	0.23	1.25	0.38	1.50	3.38	0.25	1.00	0.25	0.38	-	0.38	0.88	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-																			
朝	6	22	5	69	179	15	5	12	14	-	2	30	-	6	-	-	-	1	-	-	-																			
朝	0.15	0.81	0.19	2.56	6.63	0.56	0.19	0.44	0.52	-	0.07	1.11	-	0.75	-	-	-	1.00	-	-	-																			

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 11月 10日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第45週 平成27年11月2日～平成27年11月8日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	26	-	-	2	1	1	2	-	-	-	-	4	6	5	2	1	-	1	-	-	1
合計	205	32	53	67	22	18	12	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	80	-	5	13	6	10	13	11	7	7	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	430	-	1	2	13	31	50	60	62	44	58	34	64	3	8	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	785	7	43	86	72	76	93	63	56	43	38	33	82	17	76	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	92	1	7	3	7	11	18	10	16	9	2	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘	70	-	2	26	10	8	7	7	6	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	111	-	3	10	8	10	13	12	13	8	15	15	3	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	65	1	18	34	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
百日咳	8	-	1	3	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	145	-	-	3	8	11	25	25	13	17	22	5	14	1	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	24	-	1	-	1	2	2	2	3	-	2	-	1	1	2	1	3	2	1	-	-
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	16	-	4	6	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 43 週

(10月19日～10月25日)

平成27年11月11日

インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.88)、愛知県(0.34)、神奈川県(0.22)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は8例と前週と比較して増加し、6府県から報告があった。

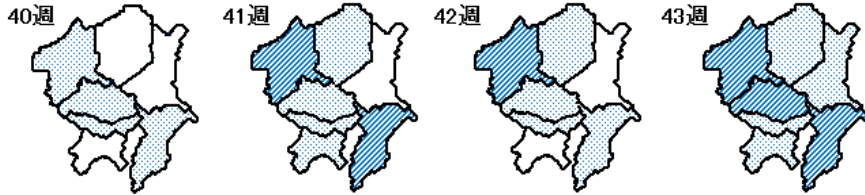
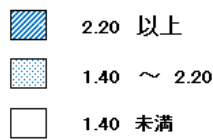
RSウイルス感染症の報告数は4,118例と第40週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(0.95)、鹿児島県(0.84)、石川県(0.72)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は静岡県(5.28)、鳥取県(4.63)、山形県(4.23)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第40週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(12.61)、福井県(10.00)、熊本県(9.76)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は徳島県(0.74)、宮崎県(0.67)、宮城県(0.61)である。手足口病の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は青森県(2.29)、愛媛県(2.03)、宮城県(1.93)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(2.03)、鹿児島県(1.27)、山形県(1.20)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.24)、佐賀県(2.39)、石川県(1.79)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は香川県(2.20)、岐阜県(2.00)、東京都(1.84)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。6府県から11例報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～4歳(4例)、50代(1例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、埼玉県(2.68)、千葉県(2.52)、群馬県(2.33)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成27年 43週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	498	181	9	1	6	19	29	49	68
	定点当たり	0.10	0.12	0.08	0.01	0.06	0.08	0.14	0.12	0.22
RSウイルス感染症	報告数	4,118	1,090	48	85	56	218	103	384	196
	定点当たり	1.31	1.16	0.64	1.77	0.93	1.35	0.77	1.47	0.97
咽頭結膜熱	報告数	982	231	11	6	9	64	27	66	48
	定点当たり	0.31	0.25	0.15	0.13	0.15	0.40	0.20	0.25	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,914	2,001	108	79	140	432	338	539	365
	定点当たり	2.20	2.13	1.44	1.65	2.33	2.68	2.52	2.07	1.81
感染性胃腸炎	報告数	13,628	3,711	284	97	239	675	445	1,189	782
	定点当たり	4.33	3.94	3.79	2.02	3.98	4.19	3.32	4.56	3.87
水痘	報告数	1,118	340	30	11	7	63	37	107	85
	定点当たり	0.36	0.36	0.40	0.23	0.12	0.39	0.28	0.41	0.42
手足口病	報告数	2,647	780	58	26	24	140	171	180	181
	定点当たり	0.84	0.83	0.77	0.54	0.40	0.87	1.28	0.69	0.90
伝染性紅斑	報告数	1,609	413	61	24	33	93	74	81	47
	定点当たり	0.51	0.44	0.81	0.50	0.55	0.58	0.55	0.31	0.23
突発性発しん	報告数	1,600	497	37	34	35	76	73	146	96
	定点当たり	0.51	0.53	0.49	0.71	0.58	0.47	0.54	0.56	0.48
百日咳	報告数	74	28	-	2	-	8	5	10	3
	定点当たり	0.02	0.03	-	0.04	-	0.05	0.04	0.04	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	348	112	9	1	9	18	7	48	20
	定点当たり	0.11	0.12	0.12	0.02	0.15	0.11	0.05	0.18	0.10
流行性耳下腺炎	報告数	2,138	631	57	23	26	167	128	156	74
	定点当たり	0.68	0.67	0.76	0.48	0.43	1.04	0.96	0.60	0.37
急性出血性結膜炎	報告数	9	3	1	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.06	-	-	-	0.06	-	-
流行性角結膜炎	報告数	655	210	18	11	25	40	42	33	41
	定点当たり	0.95	1.03	1.06	0.92	1.79	0.98	1.24	0.85	0.89
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	12	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	353	95	9	1	8	13	8	46	10
	定点当たり	0.75	1.14	0.69	0.14	1.00	1.30	0.89	1.84	0.91
クラミジア肺炎 #3	報告数	11	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	11	2	2	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	0.15	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターの持つ病原体検査情報をまとめたものです。 **今月のコメント**

インフルエンザの検体が搬入されはじめました。10月に搬入された1検体からA 香港型(AH3)が検出されました。腸管出血性大腸菌の検出数が大きく減少しました。 レジオネラ菌は毎月検出されています。

ウイルス分離状況

四類感染症 平成27年11月5日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		8月	9月	10月	累計
A型肝炎	検体数	3	8	2	28
	A型肝炎		1		4
	検査中		1		3
重症熱性血小板減少症候群	検体数			1	1
	SFTS				
デング熱	検体数	3	7	1	23
	デング	1	1	1	11
	ヒトバルボ B19	2	3		5
	検査中				

五類感染症 平成27年11月5日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数				
		8月	9月	10月	累計	
咽頭結膜熱	検体数	95	112	109	944	
	アデノ 1				6	
	アデノ 2				1	
	アデノ 4				1	
	検査中				1	
インフルエンザ	検体数	1		1	67	
	インフルエンザ AH3	1		1	44	
	" B				15	
	アデノ 3				1	
	ライノ				1	
感染性胃腸炎	検体数	9	5	2	73	
	ノロ	1			19	
	サボ	1	1		4	
	アストロ				2	
	ロタ (A)				3	
	アデノ 1				1	
	アデノ 2				2	
	アデノ 40/41	2			5	
	コクサッキー A10				1	
	コクサッキー A16	1			1	
	コクサッキー B3	1			1	
	パレコ	1			3	
	サイトメガロ				1	
	ライノ				1	
	検査中			1	1	
	ヘルパンギーナ	検体数				9
		コクサッキー A2				1
" A6					3	
" A9					2	
" A10					1	
手足口病	検体数	10	7	3	38	
	コクサッキー A6	1	2		11	
	" A9		1		1	
	" A14	1			1	
	" A16	5	2		11	
	パレコ	1			3	
	エンテロ nt				1	
	アデノ 1	1			1	
	アデノ nt				1	
	サイトメガロ				1	
	ヒトヘルペス 6	1	1		2	
	ヒトヘルペス 7	1			2	
	ライノ	1			2	
検査中		4	3	7		
脳炎・脳症 (四類以外)	検体数	3	7	6	68	
	ヒトヘルペス 6	1			2	
	ヒトヘルペス 7				3	
	パレコ	2			2	
	ライノ				4	
	RS				3	
	単純ヘルペス 1		1		1	
	アデノ 3		1		1	
アデノ 6				1		
アデノ nt				1		
インフルエンザ AH3				1		
コクサッキー A16				1		
検査中		3	6	9		
麻疹	検体数			3	24	
	麻疹				3	
	ヒトバルボ B19				2	
	ヒトヘルペス 6				1	
	ヒトヘルペス 7				1	
アデノ 31				1		
検査中			3	3		

五類感染症つき

臨床診断名	ウイルス	検出月				累計
		8月	9月	10月		
風しん	検体数				7	
	風しん				1	
	ヒトヘルペス 6				1	
	エンテロ nt				1	
	EB				1	
無菌性髄膜炎	検体数		21	19	6	83
	ヒトヘルペス 6				2	
	ヒトヘルペス 7		1		5	
	ムンプス		2		3	
	水痘帯状疱疹			1	2	
	サイトメガロ				1	
	コクサッキー A9	3			3	
	コクサッキー A16	1			1	
	コクサッキー B2				2	
	コクサッキー B3				3	
	" B5				3	
	エコー 9		3		4	
	エコー 18		1		7	
	エコー 30		2		2	
	エンテロ nt		2		2	
	ライノ			2	4	
	検査中		3	5	3	11
流行性耳下腺炎	検体数			2	5	
	ムンプス			1	1	
	EB			1	1	
	ライノ			1	1	
	検査中				1	
その他	検体数	51	72	88	564	
	コクサッキー A6	2	1		7	
	コクサッキー A9				4	
	コクサッキー A10				1	
	コクサッキー A14	1	1		1	
	コクサッキー A16				2	
	コクサッキー B3	1	2		5	
	コクサッキー B4				4	
	コクサッキー B5			2	2	
	エコー 6			2	2	
	エコー 7		1		1	
	エコー 9				1	
	エコー 18		1		1	
	エコー 25				1	
	エンテロ 68	2	14	5	21	
	パレコ	1			5	
	アデノ 1		1		3	
	アデノ 2				16	
	アデノ 3	3		1	7	
	アデノ 54		1		1	
	単純ヘルペス 1				2	
	ヒトヘルペス 6	4	2		32	
	ヒトヘルペス 7	3	2		25	
水痘帯状疱疹	1	1		2		
インフルエンザ AH3				6		
インフルエンザ B				1		
パラインフルエンザ 1			1	4		
パラインフルエンザ 3	4	8	6	23		
RS				33		
ヒトメタニューモ				29		
ライノ	3	13	7	100		
サイトメガロ	4	1	1	17		
コロナ				10		
ノロ				1		
ボカ			1	11		
ヒトバルボ B19	4			10		
EB				3		
検査中	2	6	60	68		

nt : not typed

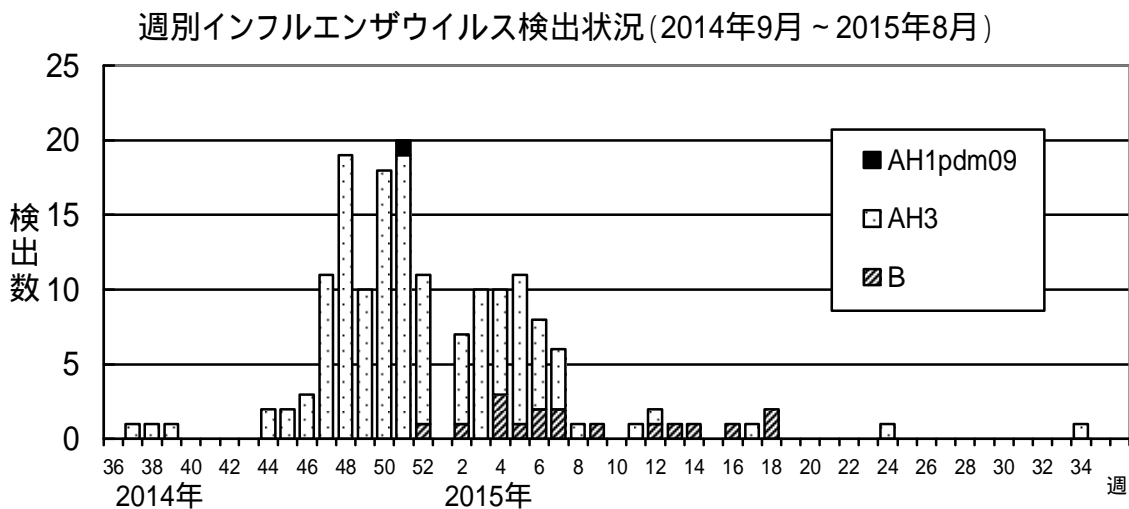
細菌分離状況

平成27年11月5日現在

病原体名	分離月	平成27年11月5日現在			備考(10月分)
		8月	9月	10月	
三類	赤痢菌	1			
	腸管出血性大腸菌 O157	19	17	4	H7(VT1&2):1, H7(VT2):1, H検査中(VT2):2
	腸管出血性大腸菌 O26	27	1		
四類	腸管出血性大腸菌その他	2	1		
四類	レジオネラ菌	1	2	1	L. pneumophila(SG1):1
五類	肺炎球菌	1			
	溶血性レンサ球菌		1		
五類	その他	1	1		

インフルエンザ(2014/15 シーズン)

2014/15 シーズンの全国のインフルエンザ流行状況は、2013/14 シーズンとは異なり AH3 亜型主体で、次いで B 型が多く、AH1pdm09 の流行は、小規模でした。県内も同様の状況で、型・亜型別の検出割合は、AH3 亜型が 89.0%、B 型が 10.4%、AH1pdm09 が 0.6%で、AH1pdm09 の検出数は 1 件のみでした。下図に、2014/15 シーズン(2014 年第 36 週～2015 年第 35 週)の県内におけるインフルエンザウイルス検出状況を示しました。



県内で検出された、AH1pdm09 1 株、AH3 亜型 106 株、B 型 12 株について、薬剤耐性マーカーの有無を調査したところ、耐性マーカーを持ったウイルスは認められませんでした。また、国立感染症研究所が 2014/15 シーズンの全国の各型及び亜型のインフルエンザウイルス分離株について、抗インフルエンザ薬(ノイラミニダーゼ阻害薬 4 種類:オセルタミビル、ペラミビル、ザナミビル及びラニナミビル)に対する耐性の有無を調査したところ、AH3 亜型 360 株中 1 株にオセルタミビル及びペラミビル耐性株が認められました(ザナミビル及びラニナミビルに対しては感受性)。一方、AH1pdm09 42 株(ザナミビル及びラニナミビルについては 26 株)及び B 型 291 株には耐性株は認められませんでした。日本における抗インフルエンザ薬使用量は非常に多いので、今後も薬剤耐性株の出現状況の監視が必要です。

2009 年のパンデミックを除けば、近年のインフルエンザ流行には複数の亜型のウイルスが関与しています。今年 9 月以降、すでに県内では AH3 亜型が検出されています。全国では、AH3 亜型が最も多く、次いで AH1pdm09、B 型の順に検出されています。今シーズンの流行ウイルスの把握のために、病原体定点の先生方には、検体採取をよろしくお願いいたします。

インフルエンザに関する最新の全国情報、抗インフルエンザ薬耐性調査については、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>)でご覧になれます。

